

平成30年度東日本大震災避難者に対する鍼灸ボランティア実施報告

特定非営利法人 鍼灸地域支援ネット

森岡 正和

1. 目的

東日本大震災の被害により、被災地から京都市営団地で避難生活を送られている被災者の心身の不調に対し、鍼灸施術ボランティアを行うことにより、疼痛や精神ストレス等の症状の緩和を図る。

2. 期間

平成29年4月～平成30年3月

3. 場所

京都市営団地

4. 実施形態

社会福祉協議会による公的支援は平成29年3月末で終了し、特別な事情で帰還が叶わず、避難生活を余儀なくされている避難者に対し、有志の団体が毎月第一土曜日午前を実施する茶話会（意見交換等）に併せて、希望者に鍼灸を施す。

5. 実施結果

(ア) 患者数： 4名

性別・・・女性3名、男性1名

年齢（年度初め）・・・50代（1名） 60代（1名） 80代（2名）

被災地（出身）・・・宮城県、福島県、茨城県

(イ) 施術者： 森岡 正和

(ウ) 主 訴（初診時／複数）： 膝痛、肩の痛み・コリ、腰痛、上腕の挙上制限等

(エ) 随伴症状（初診時以降の発生を含む）： 坐骨神経痛、手根管症候群、尺骨神経麻痺、めまい（メニエール病）、頭痛、顎関節痛、高血圧、足裏・足趾冷え、仕事のストレス、不眠（中途覚醒）

(オ) 実施日

時間帯： 10：00～12：30

回数	年	月 日	施術者数	施術者	備 考
1	平成 29 年	4 月 1 日 (土)	2 名	森 岡	
2		5 月 6 日 (土)	2 名	森 岡	
3		6 月 3 日 (土)	2 名	森 岡	
4		7 月 1 日 (土)	2 名	森 岡	
5		8 月 5 日 (土)	3 名	森 岡	
6		9 月 2 日 (土)	3 名	森 岡	
7		10 月 7 日 (土)	3 名	森 岡	
8	平成 29 年	11 月 4 日 (土)	3 名	森 岡	
9		12 月 2 日 (土)	3 名	森 岡	
10	平成 30 年	1 月 6 日 (土)	1 名	森 岡	
11		2 月 3 日 (土)	0 名	—	慰安旅行のため患者なし
12		3 月 3 日 (土)	2 名	森 岡	避難者交流会（西本願寺聞法会館）で実施。
合計			26 名		

6. 施術内容

中医弁証、経脈病証、経筋病証等に基づく診療・ツボの選択

鍼材料・・・セイリン(株)製ディスポーザル鍼

灸材料・・・(株)山正製円筒灸、台座灸（せんねん灸）

その他・・・セイリン(株)製円皮鍼（パイオネックス）、(株)阪村研究所製マグレイン

6. 施術結果（効果等）

- ・変形性膝関節症による動作痛や脊柱管狭窄症による腰部・下肢の疼痛が鍼灸により緩和もしくは進行防止ができています。
- ・帯状疱疹後神経痛、手術痕の頑固な痛みが、局所へ直接灸を施すことにより一定期間、症状の緩和が見られる。
- ・手根管症候群で第3・4指の指間関節に台座灸を施したが、痺れの症状の悪化を防止できている。
- ・顎関節炎は局所への刺鍼による2回の治療で緩解した。
- ・回転性めまいに対し、耳のめまい点への磁気テープ貼付が効果的であった。
- ・激しい交代性下痢・便秘に対し、腹部を灸（棒状）で温める（自宅灸を含む）ことにより、徐々に症状が緩和してきた。

7. 考 察

- ・平成 29 年度は事情があって、京都に居住を継続されている被災者 4 名に鍼灸治療を施した。
- ・鍼灸は施術者と患者さんとの間に相性のようなものがあるようであり、4 名とも施術直後の効果が顕著であり、一定の期間持続効果があるようである。
- ・加齢に伴う慢性的な運動器疾患は、月 1 回の鍼灸施術では緩和までは難しいが、進行防止に役立っているのではないかと考える